

橋本ひだまり倶楽部（すみだこども園） 森林環境教育（森林E S D）プログラム分析シート

プログラム名： 「みつけて ふれて わくわくドキドキ!!」 森あそび保育実践プロジェクト		
(1) プログラムの目標	①市内外のこども園・幼稚園・保育4園を対象に、各クラス毎、年2回の活動を行っています。生まれて初めて森あそび体験をする園児ばかりです。初めての森林体験の「着地」を大切に、心地良く「楽しかった!」「また来たい!」を目標にしています。 ②森林の持つ不思議発見や、危険性・服装についても知ってもらうようにしています。 ③遊具やおもちゃがなくても、自分たちで遊びを見つけて遊びます。 ④森あそびプロジェクトの為に、たくさんのスタッフが関わっていることを伝えます。	
(2) プログラムの概要	①どの園も4歳児、または、5歳児を対象の森あそび保育になります。 ②森の探検 ③季節と年齢によって、④または⑤を選択する。 ④木工体験・・・クマさんペンダント 木の名札作り ⑤ノコギリ体験・・・前日用意した竹をノコギリを使って切る。切った竹をコップや貯金箱にする ⑥読み聞かせ（絵本・紙芝居） ⑦一日の振り返り→いちばん楽しかったこと発表!	
活動内容について、プログラムの流れで、記載する。 合わせて、段階的な学びとして、3つのタイプのアクティブ・ラーニング（in、about、for）の視点で活動内容を区分してみる。 ・in（～の中で）－ 体験、観察、製作など（関心・意欲、知識・技能） ・about（～について）－ 情報収集・分析、情報交換、討論など（知識・技能、思考・判断・表現） ・for（～のために）－ 提案、実践など（態度、参加・行動）		
時間数	プログラムタイトル	
	活動内容	指導・支援の方法、ポイント等（教材等）
in、about、for の視点で活動内容を区分		
1 時間	打合せ	
	・園の主任・担任職員・副園長たちと、プログラムについて打合せを行う。	服装・着替え・季節によつての森の様子。プログラム内容や時間の確認、クラスの特徴などの打合せを行う。
	for	
1 時間	森の約束・森の探検	
	①森の約束 ・園児編 ・教諭編 ・探検編	園児・トイレ・危険回避について 教諭・AKDの約束→危ない・汚い・ダメを言わない 探検・蜂が来たら 雨の日の歩き方など
	in	
1 時間	森の工作（またはノコギリ体験）	
	①木工工作体験 ②ノコギリの使い方	森の恵みを使い、世界にひとつの工作を製作する。 雨天以外は屋外で製作している。 初めて使うノコギリは、コツを覚えれば一段と上手になっていく。園児に相応し使い方を教える。
	about	
30分	読み聞かせ・振り返り	
	①季節や森に関連した絵本を見つけ、森の中で読み聞かせを行う。 ②帰りの挨拶の前に、園児から、今日一番楽しかったことを話してもらう。	図書館に足を運び、内容を点検し、季節や当日のプログラムに合せた絵本を読み聞かせするようにしている。 返りの挨拶の際は、お世話になったスタッフへの感謝を表してくれる。締めくくりとして3名限定で今日一番楽しかったことを聞いている。
	about	

(4) プログラムでの連携内容

(教育機関、地域、団体等での、①連携・協働先、②役割分担、③具体的な連携・協働の内容)

①連携・協働先

- ・市内外こども園・保育園・幼稚園4園
- ・(すみだこども園 応其こども園 九度山保育所 あやの台チルドレンセンター)
- ・和歌山県伊都振興局林務課
- ・橋本ひだまり倶楽部

②役割分担

- ・市内各園とのプログラム打合せを行う
- ・和歌山県伊都振興局へ見積書等の確認
- ・橋本ひだまり倶楽部では、スタッフと打合せ(材料調達・森林の安全確認・下草刈り)

③具体的な連携

- ・和歌山県伊都振興局の見学・各新聞社への連絡

1年	生活：身近な自然の観察、利用
2年	生活：生き物を育てる、成長
3年	社会：飲料水、地域の生活 理科：昆虫と植物（自然の観察、植物を育てる）
4年	社会：都道府県の様子・生活 理科：季節と生物（身近な植物の成長、季節による違い）
5年	社会：国土の自然・環境、国土保全 理科：植物の発芽、成長、結実
6年	社会：歴史上の事象、文化財 理科：生物と環境
総合的な学習	横断的・総合的な課題の学習、社会体験、討論・発表
特別学習	遠足・鑑賞、集団活動・生活

森林環境教育の視点

1 感性的経験	感性的な内容 — 森林の感覚的把握や美的把握、畏敬の念など
2 自然的特性	森林の自然的特性に関わる内容 — 植物や動物の生態など
3 多面的機能	森林と人とのかかわりに関する内容 — 森林の働き、保安林など
4 現状・課題	森林の現状に関する内容 — 森林の荒廃、人手不足など
5 管理・維持	森林の管理・維持に関する内容 — 森林整備、育成、維持、管理など
6 歴史・文化	森林とのかかわり方の歴史 — その土地での歴史、薪炭林、炭焼き

(5) 活動の分析（学習指導要領との関連または森林環境教育の視点） 上位3項目

教科・項目、視点	学習内容
感性的経験	森にわくわく・ドキドキした気持ちを溢れんばかり持って園児はやってきます。森に入り、今まで知らなかったこと、初めて体験することを通じ、感性の幅が広がります。風の音も、鳥のさえずりも意識して聞くことも覚えます。
森林の自然的特性	森に棲む生き物や、昆虫や爬虫類に出会うことがあります。みんな森の仲間だということを話し、それぞれ命があることを知ります。天候や季節によって、森の過ごし方を変えていくことも、実際に森に入って経験します。
管理・維持	園児が森林に入る為に、ケガや事故が起こらないようスタッフが前もって安全点検をしていることを話します。また、木工工作に必要な材料は、森の中でスタッフが集めたり、木を切って準備した大切なものであることを伝えます。

(6) 活動の分析 (資質・能力の視点)				
E S Dの要素 (生きる力)	能力	1 批判的に考える力	態度	5 他者と協力する態度
		2 未来像を予測して計画をたてる力		6 つなぐりを尊重する態度
		3 多面的、総合的に考える力		7 進んで参加する態度
		4 コミュニケーションを行う力		
資質・能力 三つの柱	①生きて働く「知識・技能」の習得			
	②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成			
	③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養			
次期学習指導要領では、持続可能な開発のための教育（E S D）等の考え方も踏まえつつ、「生きる力」とは何かを、「資質・能力」（三つの柱）に沿って具体化するとしています。 活動を、三つの柱の項目に再整理して記載をしてください。（該当がない項目は空欄）				
項目	E S Dの要素（7つの能力・態度）の視点で見つめ直して、もっとも重視する視点の内容を記載してください。			
①生きて働く「知識・技能」の習得	「コミュニケーションを行う力」 園児にとって、初めての森林体験はわくわくもあり、ドキドキの期待と不安が入り混じった中で、唯一、いつも一緒に過ごす友達との関係は大きい。協力しあったり、声掛けしたり、注意をしたり、大人の指示でなく、自らがコミュニケーションを発揮している姿を見受けられることが多い。			
②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成	「多面的、総合的に考える力」 普段の生活では遭遇しない危険が森の中にはあり、森の約束の中に危険の話を取り入れることで、自ずと危険回避の為の判断をしている。			
③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養	「進んで参加する態度」 森林体験の中で、園児の持つ素直な心がしっかり表現で来ているのが森で過ごす時間である。森の中で感じるウキウキ感や、ワクワク感も手伝い、怖かったり不安に感じることも、互いが声を掛け合ったり、積極的に先頭に出る園児が全体を引っ張ってくれたり、就学前の園児とは思えない行動が見られる。			
(7) 実施後、参加者の変化				
①どの園も森林の持つ自然感や園児の生き生きと目を輝かせる姿に、再度、森林体験を園のプログラムの中に取り入れたいと考えています。 ②園児ばかりでなく、教諭たちも、園児と共に森林体験を楽しんでいます。 ③森の約束を園児たちとも交わしますが、AKDの約束を教諭とも交わします。 ・A・・・危ない！ ・K・・・汚い！ ・D・・・ダメ！ ・危険な時は命を張って守ってください。→先生との約束は、園児に人気です。				
(8) 安全対策として事前・当日の取組事項				
園と事前打合せを行う。（服装や森の状態など） ②スタッフが森林に入り、森の探検コースの下見を行う。 ③当日の天候・季節・時間的なもので森の探検コースを何コースか揃えておく。 ④冬は、屋外のドラム缶で、薪をくべ暖をとるので、火についての危険を学ぶ。				
(9) プログラムの今後のめざす方向・展開				
①森林体験の回数をもっと増やし、現在各クラス年2回行っているものを、年4回、または毎月実施するなど、回数を増やして、もっと森林を深く知って欲しい。 ②「森のようちえん」の持つすばらしさを、一般の園の保育の中に取り入れる為、教諭の森林体験など、事前に行ない研修を行う。				
(10) 現状での課題、質問事項など				
①園バスを持っている園では森林体験を行うことができるが、園バスを持ち合わせていない園にとって、来ることが出来ない。補助金などで補うことが出来ないか？ ②ウイークデイの体験になる為、スタッフはどうして、女性と年配者かに限られる傾向がある。				